



ニュースレター

Vol. 8

2021年10月

発行：NPO法人えん

住所：伊東市松原771-12

TEL: 0557-32-0117

FAX: 0557-32-0118

ウェブサイト：www.npo-en.org

編集：高田仁里

サポートハウスえん



今月も庭仕事。



お団子を蒸しあげました



今日も沢山のじいじ、ばあばに見守られ、成長しています。



感染対策に留意しつつ、買い物にも出かけます。



飾り用に、お月見お団子をみんなでつくりました。お団子を乗せる三方も手作りです。

さらに、庭で育てたさつまいもをお供えに！



編集 高田より



介護や障害福祉の世界では良く「自立支援」を目指す、と言われることがありますが、日本全体で通用する、明確な定義が存在する訳ではありません。様々な企業や団体が「自立支援」について唱えています。

私たちは、「信頼し、依存できる人が増えること」を自立支援と捉え、「好きなことや得意なこと、できること、興味関心のあることを通して、自らの意思で、誰かと繋がり、社会参加すること」がその人の生活を豊かにすることだと考えて

います。

人は誰も、何かに少しずつ依存して生きています。特定の人や物に過度に依存すると良くありませんが、信頼できる人や物が多ければ、安心して生きていくことができるでしょう。

これは、人間の社会面での「自立」を捉える上で重要で、大人にも子どもにも通用する普遍的な概念だと考えています。

小規模保育所えん



この度、「赤い羽根共同募金」からご寄付いただきました。

助成金額：366,000円

使道：砂場のハウス遊具

子どもたちの砂遊びを充実させるため、カウンターハウスを購入いたしました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



デイサービスで用意した、お月見のお団子を見学しました。庭で採れた、お供えのさつまいもや、お団子に触って感触を味わっています。



0歳児のお部屋でも指を使ってお絵描きを楽しんでいます。



お散歩カーに乗って、にこにこ、お散歩。



今月も行なっています、言語聴覚士によるふれあい遊び。毎月繰り返すことで、お気に入りの遊びに期待を膨らませる様子や、様々な動きに体を任せ、遊びを楽しむ様子が見られます。